カメラあらかると

まちの出来事

どんな花が咲くのかな
（11月24日　宇治小学校）

高梁農業普及指導センターの職員らが、市内小学校でシャクヤクの植え付け指導を行いました。
宇治小学校では、全校児童17人が参加。生産者の協力で譲り受けたシャクヤクの株を畑に丁寧に植え付けました。本格的な花が咲くのは、2～3年後の５月頃の予定です。
この事業は、市農業振興協議会が、特産のシャクヤクをＰＲするために行ったものです。

市民主役の歴史まちづくりを
（11月28日　文化交流館）

「歴史を活かしたまちづくりシンポジウム」（「高梁の歴史的風致」を考える会主催）が行われました。
歴史を活かしたまちづくりを推進するグループが、去年に引き続き開催したもので、各分野から９人が出演したパネルディスカッションでは、「地域の声を聞いて、市民参加があることが大事」「歴史・伝統を守るのは大変なこと。過去のものを利用して新しいものをつくるぐらいの意気込みがないと伝統は守れない」など、市民の力が重要であるという意見が相次ぎ、約150人の聴講者は真剣に耳を傾けていました。

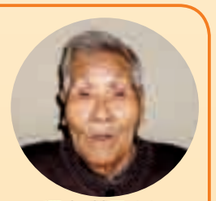
国際化の時代を考える
（11月27日　総合文化会館）

テレビなど多方面で活躍中の中村容子さんを講師に迎え、国際理解市民講座（財団法人岡山県国際交流協会主催）が開催されました。
中村さんは、カンボジア・ミャンマーなど途上国で、現地の人と交流しながら、体験したことを具体的に分かりやすく話しました。
熱心に聴講した市民にとって、国際協力について「自分に何ができるか」を考える時間になりました。

100歳おめでとうございます

11月12日から28日の間に100歳（明治43年生まれ）の誕生日を迎えられた２人を、市職員らが訪問し記念品や花束を贈って長寿を祝いました。
市内で100歳以上の人は
12月７日現在で31人（男性８人、女性23人）。

那須 亀夫さん
（成羽町下原）



澤山 鶴乃さん
（中井町西方）

チャレンジリーグ入れ替え戦（11月14日 神原スポーツ公園）

念願のチャレンジリーグ昇格（11月24日　市役所）

吉備国際大学女子サッカー部が、日本女子サッカーリーグ（Ｌリーグ）のなでしこリーグ２部にあたるチャレンジリーグ入れ替え戦（11月14日、21日）に出場し、見事チャレンジリーグ昇格を決めました。
11月24日には、昇格を決めた同大学女子サッカー部の太田真司監督と磯金みどり主将が来庁し、来期からのチャレンジリーグ参入を近藤市長に報告しました。

万が一に備えて
（11月21日　スポーツパークうかん周辺）

大規模林野火災を想定した消火訓練が行われ、消防本部、消防署、市消防団有漢方面隊の３分団から、計177人とポンプ車など車両15台が参加しました。
今回の訓練は、消防活動の能力向上、相互の協力体制の充実強化と、市民への防火意識の高揚を図るのが目的。
消火活動中に倒木による自動車事故が発生したという想定で、有漢方面隊中央分団に配備している多目的型積載車を使用し救出訓練を実施しました。また、住民の避難誘導や救護活動訓練のほか、女性消防団による炊き出し訓練も行われました。

自閉症を分かりやすく理解
（11月20日　文化交流館）

「たかはし福祉フォーラム2010～みんなでやさしく、みんなにやさしく～」が行われました。市の障害福祉向上のため活動している高梁市自立支援協議会（上原増子会長）が開いたものです。
当日は、映画「ぼくはうみがみたくなりました」の上映と同映画の原作者でＮＰＯ法人はらっぱ理事長の山下久仁明さんの講演がありました。
市内外から参加した約100人は、自閉症について分かりやすく学ぶとともに、感動的な映画に見入っていました。